

農繁期 レポート

令和3年 7月号

バードライフファーム

オーナー (一般)バードライフ・インターナショナル東京
水田面積 25.0アール
保証量 玄米1125kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 米風土鳥取の皆さん

大雨のない梅雨が過ぎて、真夏日がやってきました。今年はずいぶん暑いですが水さえあれば良質なお米ができそうです。もうすぐ稲の花が咲き、ここでほぼ品質が決まりますので順次、電気柵を設置し、イノシシと格闘しながら最後まで頑張ります。御期待ください。

7月の作業内容と稲の成長

1. 溝切り

全ての田んぼに行う作業ではなく、中干しの際、すぐに水が引いて硬くなる田んぼにはせず、染み出す水があたり深い田んぼに行うものです。これを行うことで土中の有機物の分解の時にでてくるガスを抜くこともできます。



2. 中干し (なかほし)

6月下旬にピークを迎えた稲の生長(分けつ)を田んぼの水を抜いて、土にひび割れができるまで乾かすことを“中干し”と言います。この作業でしっかり乾かすことで稲の倒伏を防ぎ、稲刈り作業をしやすくする効果もあります。



3. 電気柵の設置

日南町でも鳥獣被害が多発する地区とそうでない地区があります。多発する地区は毎年早めに電気柵を設置し、田んぼへの侵入を防ぎます。特に猪は稲を食べる訳ではなく、田んぼでゴロゴロ遊ぶ目的で来ていることが多いです。



4. 草刈り

5月～8月までに多い時は1水田に数回の草刈りを行っています。刈っても刈っても生えてくる草の生命力と農家さんは毎年闘っているのが現状です。遮るものが何もない水田での日中の草刈りは相当体力を使います。

